

2013年2月15日

新潟市長 篠田 昭 様

日本共産党新潟市議会議員団
団長 渡辺 有子

要援護世帯への「福祉灯油」支給に関する要望書

2月6日に資源エネルギー庁が発表した新潟県の灯油18リットルの店頭価格は、1818円（10101円）で、10週連続値上がりしています。円安で原油輸入価格が高止まりしていることが主な原因で、政府のすすめる金融政策がさらに価格を押し上げかねない状況です。

厳しい寒さの中で、暖房用の灯油は生活必需品であり、灯油の値上がりは市民にとって死活問題になっています。とりわけ、収入の少ない高齢者や障害者、ひとり親家庭、生活保護世帯などの要援護世帯にとって、灯油は命をつなぐために欠かすことのできないものです。

多くの低所得者が高い灯油を購入することができないために、暖房器具の使用を朝晩や、来客があった時などに限定して、寒さをこらえる日々を過ごすを得なくなっています。低所得者のなかには、高齢や病気などで暖房が欠かせない人が多く、灯油高騰に対する緊急支援策が強く求められています。

要援護世帯の命と暮らしを守るために、下記の事項を強く要望します。

記

1. 一人暮らしや市民税非課税の高齢者世帯、障害者、ひとり親家庭、生活保護世帯などに対し、「福祉灯油」（灯油代助成）をおこなうこと
2. 国に対し、「福祉灯油」を支給した自治体に対し、2007年を大きく上回る財政支援を行うよう求めること

以上